

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 データ・アプリケーション

 コード番号 3848 URL <https://www.dal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 橋本 慶太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO (氏名) 長井 定一

TEL 03-5640-8540

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	787	△8.9	133	△32.4	137	△31.2	88	△27.4
23年3月期第2四半期	864	23.3	197	—	199	—	122	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 85百万円 (△27.4%) 23年3月期第2四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5,663.98	5,513.47
23年3月期第2四半期	7,848.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,688	1,333	79.0
23年3月期	1,598	1,266	79.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,333百万円 23年3月期 1,266百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	1,500.00	1,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,572	△2.1	169	△39.2	173	△38.9	110	△36.0	7,013.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P4.「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	17,411 株	23年3月期	17,349 株
② 期末自己株式数	1,720 株	23年3月期	1,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	15,676 株	23年3月期2Q	15,580 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定に基づくものであり、実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況下にありましたが、サプライチェーンの立て直し等による生産活動の回復に伴い、個人消費や設備投資に持ち直しの動きもみられておりました。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害の影響、海外景気の下振れ懸念等により、先行きについては依然として不透明な状態が続くものと考えられます。

情報サービス産業におきましても、ビジネス向け受注ソフトウェアやソフトウェアプロダクトの売上高は前年同四半期に比べ減少しており、企業のIT投資は、震災の影響により事業継続の観点で災害対応強化を優先し、その投資内容を精査し、選別する方向にあるものと判断されます。

この経営環境下、当第2四半期連結累計期間は、当社製品の主要適用分野であるEDI関連業務での問題解決力の強化及び製品やサービスの応用可能な市場への提案力の強化等、販売力の強化に努めてまいりました。

他方、研究開発面では、顧客ニーズの充足及び付加価値の拡大を図るべく、既存ソフトウェア製品の機能強化や次期製品の開発を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、メンテナンス売上は前年同四半期を上回ったものの、ソフトウェア売上、その他売上は前年同四半期を下回ったことにより、売上高は787百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。利益面では、売上総利益は624百万円（前年同四半期比9.8%減）、売上総利益率は79.3%となっております。

また、販売費及び一般管理費が491百万円であったことにより、営業利益は133百万円（前年同四半期比32.4%減）、経常利益は137百万円（前年同四半期比31.2%減）となり、税金等調整後の当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は88百万円（前年同四半期比27.4%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間で当社のサーバー系ソフトウェア製品は新たに198本を出荷し、累計出荷実績は5,789本に至っております。

当社グループの事業は、データ交換系ミドルウェア等の企業の業務プロセスを支える基盤型ソフトウェア製品等の開発・販売・保守及びこれらソフトウェア製品の導入や運用を支援するサービス等の提供を行う単一セグメントのソフトウェア関連事業であります。なお、売上区分別の状況は次のとおりであります。

#### ①ソフトウェア売上

ソフトウェア売上におきましては、主要適用分野であるEDI関連業務での問題解決力の強化及び応用可能な市場への提案力の強化等、売上の拡大に努めてまいりました。その結果、主力製品であるEDI系製品の売上が前年同四半期比で15.0%の増加となった一方で、前年同四半期に大型案件の受注があったデータ変換機能を提供するAny系製品の売上が前年同四半期比67.0%の減少となったこと等により、ソフトウェア売上高は353百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

#### ②メンテナンス売上

メンテナンス売上は、当社ソフトウェア製品の導入にあたり保守契約を締結し、毎年一定の保守料金をいただき、製品に関するサポートサービスを提供しております。従いまして、このメンテナンス売上は累計導入企業数の増加と共に安定的な収益基盤となっております。

メンテナンス売上高は、前期のソフトウェア売上伸長の影響や継続した保守契約の推進活動等により、410百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

#### ③その他

その他の売上として、ソフトウェア製品販売に付帯する、製品の導入サービス、教育サービス等のサービスの提供や、通信機器の販売等があります。これらは、製品の販売に付帯して顧客要望に基づき発生するもので、当該売上高は23百万円（前年同四半期比49.7%減）となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下のとおりであります。

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産の残高は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加して1,688百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加101百万円、その他流動資産の減少7百万円、固定資産の減少7百万円によるものです。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ23百万円増加して355百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加43百万円、前受金の増加27百万円、賞与引当金及び役員賞与引当金の増加38百万円、その他流動負債の減少83百万円によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ66百万円増加して1,333百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加65百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期から228百万円増加し1,166百万円となりました。なお、前連結会計年度末に比べ101百万円の増加となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は125百万円(前年同四半期は129百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益137百万円、賞与引当金及び役員賞与引当金の増加38百万円、未払金の減少77百万円、前受金の増加27百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は5百万円(前年同四半期は13百万円の獲得)となりました。内訳は、固定資産の取得による支出5百万円となっています。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は18百万円(前年同四半期は23百万円の使用)となりました。内訳は、新株の発行による収入4百万円、配当金の支払額23百万円となっています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成23年10月28日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。通期の業績予想については、平成23年7月29日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

なお、業績予想はリスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化によって予想値と異なる結果になる可能性があります。第3四半期以降におきましては、以下のような事業上のリスクが考えられます。また、下記項目以外の事業等のリスクにつきましては、当社が公表した有価証券報告書の「事業等のリスク」をご確認願います。

また、業績に影響を与える要因は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではありません。

①間接販売(パートナーモデル)への依存について

当社グループの製品及び保守サービスは、主に、システムインテグレーター等のパートナー(販売代理店等)との協業によって販売されており、間接販売による売上が大部分を占めております。従いまして、販売パートナーの営業活動状況は、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

②財政状態及び経営成績の変動に関わるものについて

当社グループを含めたパッケージソフトウェア販売の特徴として、人件費等の固定費水準が高く、変動費比率が低いことが挙げられます。そのため、売上高が増加した場合の増益額が他の販売形態に比べ大きい一方、売上高が減少した場合の減益額も他の販売形態に比して大きく、利益の変動額が大きい傾向にあります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。  
なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,064,806	1,166,544
売掛金	176,480	177,208
仕掛品	—	2,568
その他	62,499	54,911
流動資産合計	1,303,786	1,401,233
固定資産		
有形固定資産	23,363	23,751
無形固定資産	24,715	20,128
投資その他の資産	246,832	243,713
固定資産合計	294,911	287,594
資産合計	1,598,697	1,688,827
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,239	9,669
未払法人税等	3,398	47,145
前受金	176,035	203,922
賞与引当金	—	32,729
役員賞与引当金	—	5,567
その他	139,375	56,342
流動負債合計	332,048	355,377
負債合計	332,048	355,377
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	388,199	390,431
資本剰余金	298,199	300,431
利益剰余金	713,492	778,839
自己株式	△125,536	△125,536
株主資本合計	1,274,354	1,344,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,705	△10,714
その他の包括利益累計額合計	△7,705	△10,714
純資産合計	1,266,648	1,333,450
負債純資産合計	1,598,697	1,688,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	864,522	787,672
売上原価	172,390	163,182
売上総利益	692,131	624,490
販売費及び一般管理費	495,078	491,220
営業利益	197,053	133,269
営業外収益		
受取利息	183	131
受取配当金	579	322
補助金収入	1,800	1,800
受取手数料	—	950
その他	96	1,017
営業外収益合計	2,660	4,221
営業外費用	19	180
経常利益	199,693	137,310
特別損失		
固定資産除却損	81	—
特別損失合計	81	—
税金等調整前四半期純利益	199,612	137,310
法人税等	77,339	48,519
少数株主損益調整前四半期純利益	122,272	88,790
四半期純利益	122,272	88,790



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	122,272	88,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,190	△3,009
その他の包括利益合計	△4,190	△3,009
四半期包括利益	118,081	85,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,081	85,781
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	199,612	137,310
減価償却費	9,002	9,651
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,253	32,729
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,067	5,567
受取利息及び受取配当金	△763	△453
固定資産除却損	81	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,016	△727
たな卸資産の増減額(△は増加)	△505	△2,568
その他の資産の増減額(△は増加)	6,619	△5,084
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,122	△3,569
未払金の増減額(△は減少)	△81,213	△77,916
前受金の増減額(△は減少)	22,571	27,886
その他の負債の増減額(△は減少)	△40	△5,408
小計	175,544	117,416
利息及び配当金の受取額	748	453
法人税等の支払額	△46,294	△8,351
法人税等の還付額	—	16,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,998	125,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△680	△4,081
無形固定資産の取得による支出	△5,842	△1,372
事業譲渡による収入	20,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,477	△5,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	4,464
配当金の支払額	△23,077	△23,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,077	△18,686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	120,398	101,738
現金及び現金同等物の期首残高	818,016	1,064,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	938,415	1,166,544

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。